

## 議題 2. 2019年度事業報告 概要

2019年度に計画された事業については概ね順調に進められた。しかし、2月以降は新型コロナウイルス感染症の流行により、研修会や委員会活動を中止し、感染防止に努めた。以下、各委員会の活動をトピックのみ紹介するが詳細は資料を確認いただきたい。

- ・総務会は4地区に理事を派遣した。また、Web会議システムの導入を検討した。
- ・医書電子化ワーキンググループでは総会オープンフォーラムで活動紹介を行った。
- ・企画広報委員会では国立国会図書館への蔵書寄贈システム構築に着手し、会員への広報が行われた。
- ・機関紙「医学図書館」編集委員会ではレファレンス事例集100号記念レファレンス大賞を募集、総会にて発表した。
- ・出版委員会では医中誌とPubMedの既刊本の改訂を予定していたがDBのバージョンアップの事情により延期された。
- ・学術情報コンソーシアム委員会では精力的に企業との交渉を進めた。
- ・教育・研究委員会ではE-ラーニング作成ワーキンググループを置き、作成したコンテンツを会員に公開した。
- ・医療・健康情報委員会では患者図書室の訪問調査を開始した。
- ・認定資格運営委員会では促進に向け様々な取り組みを行った。
- ・受託事業委員会では、診療ガイドラインの受託が作業可能量を超えたため、受付を中止した。また、NLMCデータベース作成ワーキンググループは今期で活動が終了した。
- ・協会賞・奨励賞選考委員会では歴代受賞者一覧を本会ウェブサイト公開した。
- ・国際交流委員会ではKMLAとの交流事業を円滑に進めた。
- ・組織・制度委員会では定款の改定に注力した。
- ・病院部会では2月に予定していた研修会を時勢により中止したがその一部を動画で配信した。

## 議題2. 2019年度事業報告

### I. 総務会

#### 1. 委員

担当理事 河合 富士美（専務理事・聖路加）、城山 泰彦（順大）、児玉 関（東邦大医）、諏訪部 直子（個人）

#### 2. 事業計画と年間目標の達成状況

##### 1) 委員会の開催

第1回 4月 11日

第2回 6月 4日

第3回 10月 11日

第4回 2月 7日

2) 第90回総会・分科会を2019年5月30日～31日に日本教育会館（東京都）で開催した。

3) 第91回（2020年度）総会を2020年5月28日に北海道大学学術交流会館（札幌市）にて開催することとし、実行委員会（委員長：児玉理事）を立ち上げた。

4) 2019年度地区会事務局連絡会議を11月22日に開催した。

5) 2019年度委員長会議を2020年1月31日に開催した。

6) 韓国医学図書館協会秋季学術大会（10月17日～18日）へ河合専務理事と橋本郷史グループ長（NLMC-DBワーキンググループ）を派遣した。

7) 地区会へ理事を派遣した。（10月25日東北及び九州・沖縄、11月8日北信越、11月14日中国・四国）

8) 5月29日にKMLAとビジネスミーティングを開催した。

9) 著作権ポリシーについては組織・制度委員会が「著作権に関する内規」を策定し、理事会で承認された。

10) 奨学基金の使い方と長期財政計画については継続審議とした。

11) 役員選出方法の検討については継続審議とした。

12) 関連団体との連携を検討・継続した。日本薬学図書館協議会と「事業協力に関する申し合わせ」を締結した。

13) その他、理事会及び各委員会活動に関する検討、意見調整を行った。

#### 3. その他

担当委員会のあるものは、当該委員会の事業計画（案）を参照

#### 4. 今後の課題

1) 未着手の重点事業目標の達成。

- 2) 役員及び委員会の業務負担を軽減する業務精査と事業の見直し。
- 3) 役員選出方法の検討

## 5. 事業別報告

### 1) 医書電子化検討ワーキンググループ

#### (1) 委員

担当理事 総務会

グループ長 児玉 闕 (東邦大医)

委員 磯本 善男 (北大)、角谷 永 (慶大医) [~10月31日まで]、  
河合 富士美 (聖路加)、田口 宣行 (埼医大)、満岡 侑子 (連中) 【3月1日~】

### 2) 事業計画と年間目標の達成状況

#### (1) 委員会の開催

第1回 4月19日

第2回 10月2日

#### (2) 日本医書出版協会(JMPA)との意見交換

JMPA との間で、国内医書電子化に関する懇談会を3度行った。電子ブックの施設向け提供モデルについて、意見交換をした。

#### (3) 第90回 JMLA 総会オープンフォーラムでの本ワーキンググループの活動紹介

JMPA と懇談するようになった経緯，意見交換実績，懇談の中のトピックについて紹介した。

#### (4) JMPA セミナーへの協力

2月14日に開催された JMPA セミナーでは、「医学図書館」をテーマとする内容であり、城山理事と児玉グループ長が講演した。

### 3) その他の報告事項

角谷永委員 (慶大医) が異動のため、10月31日付けで退任した。

満岡侑子委員 (連中) が3月1日付けで就任した。

### 4) 今後の課題

JMPA との国内医書電子化に関する意見交換の継続

## 6. その他の実績

### 1) 会員の動向

入会

正会員 B

名古屋記念病院図書室

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター図書館

正会員個人 7名

退会

正会員個人 10名

維持会員 1名 (団体)

- 維持会員 1名（個人）  
2020年3月31日現在の会員数  
正会員 A 101 機関  
正会員 B 47 機関  
正会員個人 109 名  
協力会員 2 機関  
維持会員 13 機関（団体）  
維持会員 4 名（個人）
- 2) 寄付（助成金）  
株式会社紀伊國屋書店  
丸善雄松堂株式会社
- 3) その他  
資料の共同購入ほか  
図書館年鑑 31冊 440,950円  
インセットテープ 合計 199,300本 203,666円  
NLM 複写依頼 3,187件 4,445,900円  
KMLA への文献複写提供実績 4件

## II. 企画・広報委員会

### 1. 委員

担当理事 城山 泰彦（順大）

委員長 黛 崇仁（東邦大医）

委員 川崎 かおる（岩医大）

ホームページ担当 WG

藤沢 靖子（杏大医・グループ長）、森田 ゆかり（藤大医）、

鷹野 祐子（都医学研）

会員統計担当ワーキンググループ（WG）

井上 俊子（神常盤）、梅内 美鈴（北里白）、滝野 美和子（田附研）、

田中 律子（滋慶院大）、徳江 紀子（国がん）、戸村 裕菜（東医大）

重複交換担当 WG

柏保 友紀（日看協）、戸村 裕菜（東医大）

要覧担当 WG

曾田 昌弘（関医大）

### 2. 事業計画と年間目標の達成状況

#### 1) 委員会の開催

第1回 1月15日（ホームページ担当 WG 検討会議、会員統計担当 WG 検討会議、  
重複交換担当 WG 検討会議を、企画・広報委員会とともに実施）

## 2) 企画・広報委員会

### (1) 委員会体制の整備

業務内容の整備をおこない、WG 事業が円滑に進むよう調整・支援をおこなった。

### (2) 国立国会図書館への蔵書寄贈システムの構築

国立国会図書館と事業内容を検討して、会員への告知をおこなった。

### (3) 広報活動

JMLA メーリングリスト (ML) の管理・整備、不達 mail の対応をおこなった。地区会や会合等用の、「理事会報告」PowerPoint 資料を改訂した。

## 3) ホームページ担当 WG

### (1) ウェブサイト更新体制

ホームページ担当 WG と中央事務局の協働により、遅延なく更新できている。

### (2) 掲載内容の更新

会員館に「会員館一覧」確認依頼をして、中央事務局に更新いただいた。

## 4) 会員統計担当 WG

### (1) 第 90 次会員統計

2019 年 12 月 26 日に、完成版をウェブサイトに掲載した。

### (2) 統計項目の追加

備考欄に多く挙げられた回答項目等を、選択肢に追記した。

### (3) 未提出館への対応

“会員の義務”であるが、未提出館がある。「中間報告」確認依頼を 2 回実施した。

### (4) 第 91 次会員統計に向けて

統計項目の検討、ウェブフォーム改良と編集方法等の再検討を行う。

## 5) 重複交換担当 WG

### (1) 重複雑誌交換 ML

2019 年 7 月 17 日に会員 ML に対して、重複雑誌交換 ML の案内を配信した。

### (2) 第 70 回 (2019 年度) 重複雑誌交換事業の実施

2019 年 7 月 22 日に案内状を送付し、交換期間を 2 回設けた。第 1 回 (2019 年 9 月 24 日～10 月 11 日)、第 2 回 (2020 年 2 月 10 日～2 月 28 日) で実施。実績報告書は 2020 年 3 月 19 日〆切で、集計結果は機関誌とウェブサイトに掲載予定。

### (3) 第 71 回重複雑誌交換に向けて

例年通りに、進められるよう検討する。

## 6) 要覧担当 WG

### (1) 冊子体の発行

隔年発行のため、2019 年度の発行はなかった。

### (2) 『要覧 2018-2019』変更点のウェブサイト公開

冊子体発行以降に改訂された規程や名簿等は、組織・制度委員会とホームページ担当 WG により、速やかに最新版を本会ウェブサイト上に掲載している。(冊子とウェブサイトの掲載内容が異なる場合はウェブサイトを優先)

## 3. 今後の課題

- 1) 委員会体制の構築
- 2) 委員会・WGの作業手順・業務分掌の明文化・マニュアル整備

### Ⅲ. 機関誌「医学図書館」編集委員会

#### 1. 委員

担当理事 平 紀子（個人）

委員長 浅野 泉（旭医大）

委員 石井 恵（個人）、伊藤 智輝（北里白）、大野 圭子（個人）、工藤 女恵（個人）、菅 修一（個人）、半澤 智絵（個人）、百留 悦子（埼玉医大）、藤村 三枝（滋医大）

編集協力委員 池崎 康（札幌医大）、齋藤 香織（弘大医）、相澤 まゆみ（都済生中央）、貴村 好隆（富大医薬）[2019年3月まで]、金藤 伴成（富大医薬）[2019年4月から]、榊原 佐知子（愛医大）、藤原 純子（個人）、山崎 月子（島大医）、首東 誠（九大医）[2019年3月まで]、渡邊真由美（九大医）[2019年4月から]

#### 2. 事業計画と年間目標の達成状況

##### 1) 委員会の開催

第1回 6月13日

第2回 10月7日

第3回 1月9日

第4回 3月5日

##### 2) 事業計画

###### (1) 「医学図書館」を刊行した

①66巻2号（2019.6.20）特集「私の研究の進め方：テーマ決めから発表まで～私はこうしている～」

②66巻3号（2019.9.20）特集「英語×医学図書館」

③66巻4号（2019.12.20）特集「私の職場紹介」

④67巻1号（2020.3.20）特集「知っておきたい医学史」

###### (2) 編集体制の改善

①定例記事の原稿チェック作業にWORDの校閲機能を用いることで省力化した。

###### (3) レファレンス事例集100号記念レファレンス川柳大賞の投票及び結果発表を第90回総会で行った。

### Ⅳ. 出版委員会

#### 1. 委員

担当理事 水上 則子（個人）  
委員長 吉新 裕昭（獨協医大）  
委員 原 千延（国医情）、福武 亨（愛医大）

## 2. 事業計画と年間目標の達成状況

### 1) 委員会の開催

第1回 7月11日 2019年度の出版計画について、電子書籍プラットフォームの追加について、その他

第2回 11月7日 KinoDen 全文試し読みサービスについて、著作権に関する内規について、その他

第3回 2月4日 2020年度の出版計画について、その他

### 2) 出版について

(1) 「わかりやすい医中誌 Web 検索ガイド検索事例付」の改訂版出版準備について  
2020年度中に予定されているバージョンアップに向けて情報を収集し、改訂版出版の準備を行った。

(2) 『図解 PubMed の使い方 第8版』の出版準備について  
2019年11月にリリースされた新バージョンについて情報を収集し、出版の準備を行った。

(3) 新出版物について検討した

(4) 90年略譜・100年記念誌（仮）の刊行について検討した

## 3. その他の報告事項

### 1) Maruzen eBook Library 年度末目録掲載を依頼した。

「図解 PubMed 第7版」「米国国立医学図書館分類法 2016年度版 日本語版」「やってみよう図書館での医療・健康情報サービス 第3版」のタイトル掲載

### 2) 電子書籍プラットフォームの追加

KinoDen、PQEBCを追加し、既刊3タイトルを収載した。KinoDenについては、全文試し読みサービスを導入した。

## 4. 今後の課題

### 1) 新出版物の検討

### 2) 90年略譜・100年記念誌（仮）の編集・発行準備

## V. 学術情報コンソーシアム委員会

### 1. 委員

担当理事 富田 麻子（日医大中）

委員長 田口 宣行（埼医大）

委員 角家 永（慶大医）[2019年10月31日まで]、關山 悦子（岩医大）、

鷹野 祐子(都医学研)、登坂 善四郎(神奈こ)、宮本 高行(阪医大) [2020年3月31日まで]

## 2. 事業計画と年間目標の達成状況

### 1) 委員会の開催

第1回 6月12日

第2回 9月6日

第3回 1月17日

### 2) コンソーシアム提案交渉

日本薬学図書館協議会(JPLA) 学術情報コンソーシアム委員会と合同で、出版元・代理店と2020年契約に向けたコンソーシアム提案の交渉を延べ19回行った。

### 3) コンソーシアム提案の充実

引き続き病院部会と協力し JMLA ならではの病院向け提案を充実させるほか、保健医療領域に特化した内容で他コンソーシアムとの差別化を図った。Karger からは APC バウチャーの特典など新しい提案を得た。OUP は例年移管誌が多いので購読履歴の縛りを1年に限ることを認めさせた (JUSTICE 提案は2年)。研究成果・オープンアクセスの管理支援サービス CHORUS の新規提案を得た。

### 4) コンソーシアム説明会の開催

JPLA 学術情報コンソーシアム委員会と合同で、コンソーシアム説明会を東京と京都で開催した。

京都説明会では近畿地区会に協力いただいた。

#### (1) 東京会場：2019年9月11日(水) 北里大学白金キャンパス

参加者：92名 (JMLA61名、JPLA31名)

参加企業：19社 (展示18社、プレゼンテーション19社)

\*実行委員9名 (JMLA6名、JPLA3名) (参加者数に含む)

#### (2) 京都会場：2019年9月18日(水) 京都テルサ

参加者：36名 (JMLA24名、JPLA12名)

参加企業：16社 (展示15社、プレゼンテーション16社)

\*実行委員6名 (JMLA4名、JPLA2名) (参加者数に含む)

### 5) 雑誌、電子リソースの契約等に関することについての活動

BMJ や LWW など、コンソーシアム提案から撤退する出版社が増えつつある。撤退後も会員館からのクレーム処理などに柔軟に対応していく。

## 3. その他の報告事項

1) コンソーシアム説明会に関するアンケートを実施した。

2) コンソーシアム提案に関するアンケートを正会員 A、B を対象に行った。

3) コンソーシアム成立件数の調査を行った。

## 4. 今後の課題

1) 海外出版社に対してサイト定義や Tier 基準を日本の実情に即したものとなるように



促していく。

- 2) Open Access がさらに進むことを想定し、PPV 提案や APC 割引サービスを求めている。
- 3) 関西地区説明会の開催について、地区会と検討していく。

## VI. 教育・研究委員会

### 1. 委員

担当理事 加藤 砂織 (東女医大)

委員長 三谷 三恵子 (慶大医) [2019年5月まで]、西村 志保 (日医大中) [2019年10月より]

委員 大瀬戸 貴己 (奈医大)、大屋 玲奈 (獨協医大)、菊地 元子 (国病文献)、竹田 深佳 (岐大医) [2019年9月まで]、石田 綾子 (岐大医) [2019年10月より]

JMLA コア研修ワーキンググループ

グループ長 角田 ともえ (東海大伊)

委員 岩間 未乃里 (北里白) [2019年10月まで]、関口 祥子 (東歯大)、今井 千晴 (浜医大) [2020年1月より]

JMLA 学術集会ワーキンググループ

グループ長 白土 裕子 (医中誌)

委員 岡村 夢 (北里白) [2020年3月より]、川村 路代 (北大)、工藤 千絵 (帝京大医)

E-ラーニング作成ワーキンググループ

グループ長 大崎 泉 (慈恵大)

委員 笹谷 裕子 (杏大医)、清水 ゆかり (杏大医)、成田 ナツキ (個人)

#### 1) 委員会の開催

第1回 7月 2日

第2回 10月 28日

第3回 12月 19日

第4回 3月 23日 新型コロナウイルス感染拡大の影響のため中止

JMLA コア研修ワーキンググループ会議

第1回 6月 17日 (電子メールによる書面会議)

第2回 7月 9日

第3回 10月 23日

第4回 1月 20日

JMLA 学術集会ワーキンググループ会議

第1回 7月 4日 (電子メールによる書面会議)

第2回 8月 5日

第3回 11月 5日

- 第4回 3月10日 新型コロナウイルス感染拡大の影響のため中止  
E-ラーニング作成ワーキンググループ会議  
第1回 5月10日  
第2回 10月17日

## 2. 事業計画と年間目標の達成状況

### 1) 第4回 JMLA コア研修開催

日 程：2019年8月1日（木）～2日（金）  
会 場：TKP 西新宿カンファレンスセンター ホール 3D  
受講者数：65名（部分参加3名含む：JMLA 48名、非会員17名（公共4名））

### 2) 第4回 JMLA 学術集会開催

日 程：2019年12月6日（金）  
会 場：TKP 渋谷カンファレンスセンター ホール 7A  
午 前：研究発表4題  
午 後：CE コース 文献検索演習中級 2019  
参加者数：47名（JMLA45名、非会員2名）  
研究発表 37名（JMLA37名、非会員0名）  
CE コース 41名（JMLA39名、非会員2名）

### 3) 第21回図書館総合展フォーラム（JMLA/JPLA 共催）

日 程：2019年11月13日（水）  
会 場：パンフィコ横浜 第3会場（アネックスホール 203）  
テーマ：「医療・健康情報の信頼性について -医療現場と図書館の役割-」  
参加者数：190名（JMLA 50名、JPLA 13名、その他 127名）

### 4) 助成募集

締め切り1か月前の段階で応募がなかったため、リマインドメールを送り会員への周知を図った。

#### (1) 研究助成

2020年度の募集をおこなった。1件の応募があり、審査の上、理事会に推薦した。

#### (2) 海外研修助成

MLA International Visiting Health Information Professionals Program (I-VIP)  
派遣者公募を含める形で2020年度の募集をおこなった。応募はなかった。

### 5) JMLA-CE 登録の実施

2019年度は12件の申請を受け付け、審査後、認定資格運営委員会にポイント数を確認の上、JMLA-CEとして登録した。うち2件が新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催中止となった。JMLA-CE コース登録一覧を本会 Web サイトに公開している。

### 6) E-ラーニングの公開準備

E-ラーニング作成ワーキンググループを立ち上げ、基礎的な文献検索手法を習得した者が次のステップに進むための橋渡しのコンテンツの作成を目指した。「JMLA E-ラーニング文献検索講座①検索の基本」「JMLA E-ラーニング文献検索講座②シソーラ

スと検索」 「JMLA E-ラーニング文献検索講座③エビデンスの検索」の3コンテンツを作成し、11月に第4回JMLA 学術集会参加者限定で公開した。好評を得たため、次年度計画を練り上げてJMLA サイトにE-ラーニングのページを作り、会員向けに公開した。

7) 文献検索講習会におけるベーシックとアドバンストコースの効果的な橋渡し

第4回JMLA 学術集会【CE コース】文献検索演習中級2019において、参加者に上記6)のコンテンツ視聴を必須とし、講師からも基本的な操作方法の復習資料を提示していただき、事前に理解しておくべきポイントを示した。またPubMedと医中誌Webの演習問題を一部共通化し、参加者には事前課題として取り組んでもらった。

8) 講師謝金に関する規定の見直し、整備

研修会の現状に合わせ、謝金に関する内規を見直し、組織・制度委員会に提出した。

3. その他の報告事項

1) コア研修ワーキンググループメンバー募集

第二期ワーキンググループメンバーの任期満了に伴い、募集を行った。その結果、1名の応募があり、計3名（継続2名）の第三期メンバーが決定した。

4. 今後の課題

1) JMLA コア研修やJMLA 学術集会の文献検索演習におけるネットワーク接続不良への対応

2) 集合型研修のありかたの検討

## VII. 医療・健康情報委員会

1. 委員

担当理事 児玉 関（東邦大医）

委員長 岡田 光世（東邦大医）

委員 赤石 知香（青森保健大）、西 さやか（東医大）、野中 沙矢香（杏大医）

医療・健康情報ワーキンググループ

グループ長 渡邊 基史（個人）

委員 荒木 亜紀子、中島 ゆかり（個人）、藤井 美華子（個人）、舟田 彰（個人）、松田 公利

2. 事業計画と年間目標の達成状況

1) 委員会の開催

第1回 7月22日 JMLA 中央事務局

第2回 2月13日 JMLA 中央事務局，東京女子医科大学，東京医科大学

2) 患者図書室の運営，業務，サービスに関する標準化の検討

(1) 事前アンケート作成

- ①運営管理，施設・設備，資料，サービスについて事前に確認できそうな項目の洗い出し
- ②アンケート表の作成
- (2) 訪問時のチェックリスト作成
  - ①現地で見学しないとわからない項目の洗い出し
  - ②チェックリストの作成
- (3) 訪問先の検討
  - ①会員統計を参考に，訪問できそうな訪問先を検討
- (4) 訪問調査
  - ①東京女子医科大学「からだ情報館」
  - ②東京医科大学「医療情報サロン」
- 3) 医療・健康情報関連研修への講師派遣  
2019年度の講師派遣要請はなし
- 4) ホームページの改訂  
委員会事業変更に伴うホームページの改訂

### 3. 今後の課題

- 1) 患者図書室訪問調査の継続とまとめ
- 2) 患者図書室標準化案の作成
- 3) 医療・健康医情報サービスの活性化

## Ⅷ. 認定資格運営委員会

### 1. 委員

- 担当理事 北川 正路（慈恵大）
- 委員長 阿部 潤也（東歯大）
- 委員 小林 晴子（愛医大）、中島 裕美子（埼玉大）、永田 治樹（立教大）、  
山崎 むつみ（静岡がん）、山下 ユミ（個人）

### 2. 事業計画と年間目標の達成状況

#### 1) 委員会の開催

- 第1回 5月20日
- 第2回 9月9日
- 第3回 11月25日
- 第4回 2月17日

#### 2) 申請募集と認定審査

- (1) 第32回募集（2019年7月受付、9月認定）  
審査件数：12

- 認定件数：12（基礎 10、中級 2 [新規 1]、上級 0）
- (2) 第 33 回募集（2020 年 1 月受付、3 月認定）  
審査件数：13  
認定件数：（基礎 12、中級 1 [新規 0]、上級 0）
- (3) 資格取得者の現存数  
第 33 回認定後 485 名  
（基礎 443 名、中級 14 名、上級 28 名）
- 3) 申請促進のための情報発信  
申請を呼びかけるために、関連雑誌や関連団体のメーリングリストに案内を掲載した。
- 4) ホームページの改訂  
申請書類のチェックや記載内容の説明で分かりにくいと思われる部分を変更、申請制度に関する Q&A を更新した。  
展示のポイントを加えることとした。
- 5) 司書資格なしの申請者への対応  
司書資格に代わる実績説明の作成方法を掲載することとした。
- 6) 認定資格証明書の作成  
中級・上級取得者で更新をせずに基礎になると基礎の認定書はないため、認定資格取得履歴の証明書を発行することとした。
- 7) プロモーショングッズ  
クリアファイルを作製することとし、デザイン案をまとめた。

### 3. 今後の課題

- 1) 各種イベントのポイント対象可否についての事前確認への対応
- 2) 宣伝ポスター・ちらしの更新
- 3) モデル活動の申請方法の例示
- 4) 申請促進のための広報
- 5) 中上級の申請数の減少への対応
- 6) 認定資格活動に関する調査（申請動向調査、アンケート調査、関連活動の調査）

## Ⅷ. 受託事業委員会

### 1. 委員

担当理事 河合 富士美（聖路加）  
委員長 河合 富士美（聖路加）  
委員 総務会兼務

### 2. 事業計画と年間目標の達成状況

- 1) 委員会の開催

- (1) 委員会としては会議を持たず、総務会で全体を統括した。
- (2) それぞれの事業はワーキンググループを組織するなどして活動した。
- 2) 診療ガイドライン作成支援－診療ガイドラインワーキンググループ、診療ガイドライン文献検索ワークショップワーキンググループ  
※詳細は事業別報告を参照
- 3) 医学中央雑誌刊行会受託事業
  - (1) 米国国立医学図書館分類法 (NLMC) 日本語版データベースを公開し検証した。  
※詳細は事業別報告を参照

### 3. 今後の課題

新規受託事業の検討

### 4. 事業別報告

#### 1) 診療ガイドラインワーキンググループ

##### (1) 委員

担当理事 河合 富士美 (聖路加)

グループ長 阿部 信一 (慈恵大)

委員 石井 恵 (個人)、柿田 憲広 (個人)、加藤 恵子 (国がん)、河合富士美 (聖路加)、川崎 かおる (岩医大)、工藤 女恵 (個人)、小嶋智美 (個人)、小林 飛鳥 (個人)、古谷野 ありさ (岩医大)、佐藤 正恵 (個人)、高崎 千晶 (個人)、寺澤 裕子 (個人)、成田 ナツキ (個人)、長谷川 亜紀 (旭中央病)、堀米 拓哉 (日大歯)、森正 智子 (昭和大)、山口直比古 (個人)、山崎 むつみ (静岡がん)、吉原 理恵 (個人)、渡辺 由美 (日医大中)、愛知医科大学総合学術情報センター (代表: 小林 晴子)、大阪市立大学学術情報総合センター医学分館 (代表: 中橋 巧也)、杏林大学医学図書館 (代表: 藤沢 靖子)、慶應義塾大学信濃町メディアセンター (代表: 佐藤 友里恵)、滋賀医科大学附属図書館 (代表: 田村 峻一)、信州大学附属図書館医学部図書館 (代表: 後閑 壮登)、東京慈恵会医科大学学術情報センター (代表: 阿部 信一)、東京女子医科大学図書館 (代表: 三浦 裕子)、東邦大学医学メディアセンター (代表: 大谷 裕)、奈良県立医科大学附属図書館 (代表: 鈴木 孝明) 【下線 = リーダー】

##### (2) 事業計画と年間目標の達成状況

###### ① 委員会の開催

リーダー会 第1回 1月16日 (診療ガイドライン文献検索ワークショップワーキンググループ会議と共催)

ワーキンググループ会議 第1回 8月23日

###### ② 受託状況

11学会・研究班より17ガイドラインを新規に受託した。(詳細は別紙参照) 昨年

度受託分（35件）の検索が残っていたため6月に今年度の受付を中止した。

③研修会の開催

診療ガイドライン文献検索ワークショップワーキンググループとリーダーが協力し研修会を開催した。（詳細はワークショップワーキンググループ報告を参照）

④委員会関係文書の整備

担当を決め検討を開始した。

(3) 今後の課題

①リーダーの育成

②委員会関係文書の整備運用

③検索結果提出方法の検討及びBunKanの改良

④対象データベースの検討

2) 診療ガイドライン文献検索ワークショップワーキンググループ

(1) 委員

担当理事 河合 富士美（聖路加）

グループ長 阿部 信一（慈恵大）

委員 加藤 恵子（国がん）[2020年1月～]、田村 峻一（滋医大）[2020年1月～]、中橋 巧也（阪市大医）[2020年1月～]、牛澤 典子（東邦大医）[～2019年12月]、川崎 かおる（岩医大）[～2019年12月]、佐藤 友里恵（慶大医）[～2019年12月]、河合 富士美（聖路加）、小嶋 智美（個人）、鈴木 孝明（奈医大）、山口 直比古（個人）

(2) 事業計画と年間目標の達成状況

①委員会の開催

第1回 1月16日（診療ガイドラインワーキンググループリーダー会と共催）

②ワークショップの開催

8月22日～23日に聖路加国際大学にて開催した。参加者は会員21人

(3) 今後の課題

①運営マニュアルの更新

②シラバスの公開

3) 米国医学図書館分類法（NLMC）データベース作成ワーキンググループ

(1) 委員

担当理事 河合 富士美（聖路加）

グループ長 橋本 郷史（東邦大医）

委員 鷹野 祐子（都医学研）、寺升 夕希（滋医大）

(2) 事業計画と年間目標の達成状況

①委員会の開催

第1回 7月25日

主にメールで検討し、進めた

②データベースの修正

データのおかしな点を調査し、修正作業を行った。

③データベースサービスの利用ログ分析

サービスの利用状況について分析した。

④データベースサービスのアンケート調査

利用の多い10館を対象にアンケート調査を実施した。

⑤マイナー改修の検討

アンケート及び委員の意見をもとに改修点を検討し、修正を行った。

⑥報告書の作成

年度末に報告書を作成し、医学中央雑誌刊行会へ提出するとともに本会ウェブサイトに掲載する。

(3) 今後の課題

今期でワーキンググループは終了となる。データベースの維持管理は事務局に引き継がれるが、大きな改修が必要になった際の体制は今後の課題となる。

2019年度受託事業 診療ガイドライン一覧		
番号	ガイドライン名	学会等
GL1901	小児痙縮・ジストニア診療ガイドライン	日本小児神経学会
GL1902	嗅覚障害診療ガイドライン改訂第2版	日本鼻科学会
GL1903	子宮内膜症取扱い規約	日本産科婦人科学会
GL1904	成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的診療のガイドライン	日本臨床腫瘍学会
GL1905	甲状腺微小乳頭癌ガイドライン	日本甲状腺学会
GL1906	鼠径部ヘルニア診療ガイドライン	日本ヘルニア学会
GL1907	チック診療ガイドライン	日本小児神経学会
GL1908	関節リウマチ診療ガイドライン 追加分	難治性疾患等政策研究事業（免疫アレルギー疾患等政策研究事業）「我が国の関節リウマチ診療の標準化に関する臨床疫学研究
GL1909	胃食道逆流症(GERD)ガイドライン	日本消化器病学会
GL1910	機能性ディスペプシア(FD)ガイドライン	日本消化器病学会
GL1911	過敏性腸症候群(IBS)ガイドライン	日本消化器病学会
GL1912	炎症性腸疾患(IBD)ガイドライン	日本消化器病学会
GL1913	胆石症ガイドライン	日本消化器病学会
GL1914	慢性膵炎ガイドライン	日本消化器病学会
GL1915	慢性便秘症ガイドライン	日本消化器病学会
GL1916	腸回転異常症診療ガイドライン	日本小児外科学会
GL1917	副甲状腺機能亢進症ガイドライン	日本内分泌外科学会



## X. 協会賞・奨励賞選考委員会

### 1. 委員

担当理事 北川 正路（慈恵大）

委員長 石井 保志（個人）

委員 石立 裕子（個人）、泉 峰子（科学院）、首東 誠（福井大医）、森正 智子（昭和大）

### 2. 事業計画と年間目標の達成状況

#### 1) 委員会の開催

第1回 12月12日

第2回 2月 3日

#### 2) 2019年度協会賞・奨励賞の選考

第2回選考委員会で候補業績を選考し、理事会に報告を行った。

#### 3) 歴代受賞者一覧の公開

賞創設50回目を記念し、過去の受賞者および対象業績をHP上へ掲載した。  
(2019年12月更新)

掲載は、協会賞（1970～2019）、奨励賞（1977～2019）で毎年更新を予定。

### 3. 今後の課題

#### 1) 選考に関わるガイドラインの整備

#### 2) 協会賞・奨励賞HPの整備および充実(英文による発信等)

#### 3) 協会賞・奨励賞のブランディング

## XI. 国際交流委員会

### 1. 委員

担当理事 諏訪部 直子（個人）

委員長 佐藤 晋巨（聖路加）

委員 未定

### 2. 事業計画と年間目標の達成状況

#### 1) 委員会の開催 なし

#### 2) 韓国医学図書館協会（以下、KMLA）との連携

##### (1) KMLAとの二者協定に基づく連携事業の継続

①2019年度第90回JMLA総会へ来賓2名を招聘した。

総会前日(5月29日)に、総務会の河合理事、城山理事、及び、佐藤晋巨国際交流委員会委員長、事務局長、事務局主任と中央事務局にてビジネスミーティングを行った。

総会において Ms. Park, Jeomsun (全北大学医学図書館) が来賓挨拶をした。  
分科会において Mr. Lee, Seung Jae (韓国カトリック大学医学図書館) が” A  
Survey Report on Current Situation of User Education in Korean Medical  
Libraries. Focused on Institutional Members of The Korean Medical Library  
Association.”を発表した。

東邦大学医学メディアセンターを見学した。

②2019 年度 KMLA 秋季学術大会へ理事と会員の 2 名を派遣した。

大会日程：2019 年 10 月 16 日(水)～19 日(土)

開催地：ムジュ・リゾート (全羅北道)

派遣者：河合富士美 (聖路加) は開会式にて挨拶した。

橋本郷史 (東邦大医) は『NLMC 日本語版の紹介：翻訳及びデータベース  
化プロジェクトについて』を発表した。

③2020 年度第 91 回 JMLA 総会へ KMLA 会員 2 名の招聘の準備を開始した。

3) 米国医学図書館協会 (以下、MLA) との連携

(1) MLA との二者協定に基づく連携事業の継続

①MLA 年次大会への国際交流派遣者はいなかった。

②MLA 年次大会への国際交流派遣は 3 年ごとにするようになったため、来年度分  
の募集は行わなかった。

4) 台湾医学図書館学会 (以下、TMLA) との連携

交流の実現には至らなかった。

5) 英語での国際交流活動の情報発信

(1) JMLA 関連名称の英語表記の改訂を行った。

6) 海外からの医学図書館見学希望者への対応

今年度は見学希望者がいなかった。

3. 今後の課題

委員が欠員し委員長と担当理事のみによる活動が続き、定例の業務をこなすのみの状  
況である。

## ⅩⅡ. 組織・制度委員会

1. 委員

担当理事 尾崎 聖太郎 (麻布大)

委員長 新谷 知之 (東海大伊)

委員 加藤 恵子 (国がん)、土佐 智義 (個人)、森戸 重男 (獨協医大)

2. 事業計画と年間目標の達成状況

1) 委員会の開催

第 1 回 6 月 24 日

- 第2回 8月19日
- 第3回 10月15日
- 第4回 12月5日
- 第5回 1月27日
- 第6回 3月9日 新型コロナウイルス感染症拡大に鑑み中止

2) 本会諸規則の制定及び改定

以下の規程類の制定及び改定作業を行った。(現在作業中のものを含む。)

(1) 制定作業

- ①JMLA/JPLA 事業協力に関する申合せ
- ②著作権に関する内規

(2) 改定作業(軽微な修正は除く。)

- ①各種申請書20種の改訂(レイアウト、項目名等、様式の統一)
- ②謝金に関する内規

(3) その他

認定資格証明書

3) 本会の組織・制度に関すること

定款の見直し及び総会に向けての改定作業

3. その他の報告事項

改定された規程類を、本会ホームページへ掲載した。

4. 今後の課題

- 1) 諸規則の制定及び改定作業の迅速化を図る。
- 2) 規程全般に渡る整合性を確認し、体系化を図る。
- 3) 規程類の用語及び表記、並びに各種申請書の様式の統一を図る。

## XIII. 部会 病院部会

1. 委員

- 部会長 加藤 恵子(国がん)
- 幹事 泉 峰子(科学院)、春日井 泉江(名記念)、小林 飛鳥(個人)、  
高崎 千晶(個人)、成田 ナツキ(個人)、吉田 言(NCNP)

2. 事業計画と年間目標の達成状況

1) 部会の開催

第1回 2019年5月30日(日本教育会館)

内容:2019年度病院見学会について、研修会について、ファイル保管について

第2回 2020年2月29日(国立がん研究センター)

内容:2020年度活動計画について 見学会マニュアルについて

2) 定例会の開催

第1回 5月31日(金) JMLA分科会 休憩時間中に開催

参加: 会員 15人

3) 見学会の実施

2019年11月15日午後 見学先: 鳥取市立病院、鳥取市立中央図書館、  
鳥取県立図書館

参加: 会員 8人 非会員 1人

4) 研修会の実施

新型コロナウイルス感染症対策のため中止

研修内容の一部を動画で配信

内容: 「進化する PubMed」

講師: 山口直比古氏 (個人)

目的: 新 PubMed 解説

参加: 幹事 7人 (内 Web 参加 2人)

動画配信: 会員 31人 非会員 6人

5) メーリングリストによる情報交換